

COM-JC [SRZ対応版] 簡易取扱説明書

All Rights Reserved, Copyright © 2007, RKC INSTRUMENT INC.

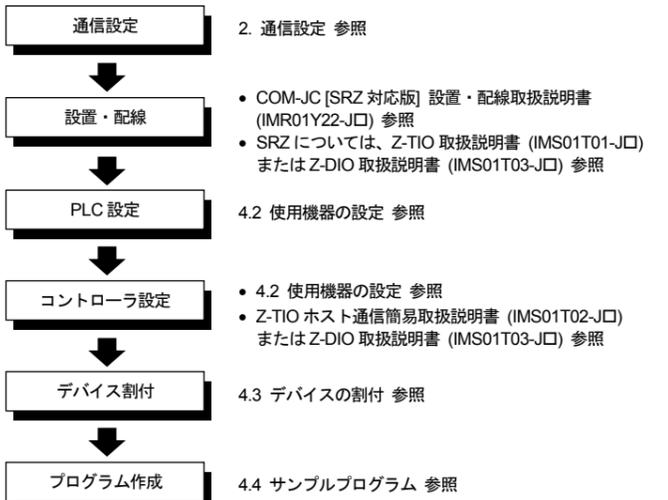
IMR01Y26-J2

本製品をお使いになる前に、本書をよくお読みいただき、内容を理解された上でご使用ください。なお、本書は大切に保管し、必要なときにご活用ください。

本書はCOM-JCの基本的な使用方法について説明したものです。

詳細な取り扱いや操作等については、別冊の**COM-JC [SRZ 対応版] 取扱説明書 (IMR01Y34-J口)** を参照してください。当社ホームページからダウンロードできます。
ホームページアドレス: http://www.rkcinst.co.jp/down_load.htm

1. 取扱手順



誤動作防止のため、運転を開始するときは、最後にCOM-JCの電源をONにしてください。

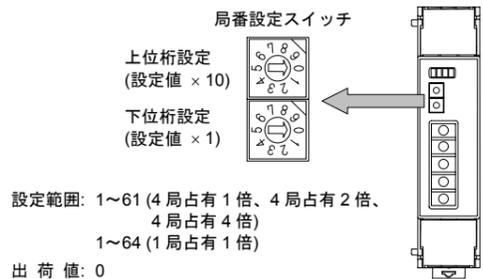
2. 通信設定

注意

電源ON状態で、メインフレームをターミナルベースから引き抜かないでください。機器故障の原因となります。

2.1 局番設定

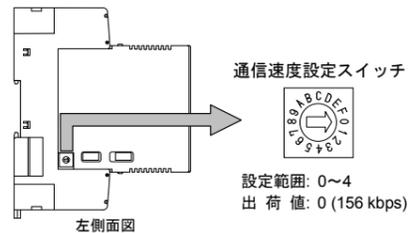
CC-Linkの局番を設定します。設定は小型のマイナスドライバを使用してください。



設定範囲以外に設定した場合、COM-JCはFAIL状態になります。

2.2 通信速度設定

CC-Linkの通信速度を設定します。設定は小型のマイナスドライバを使用してください。



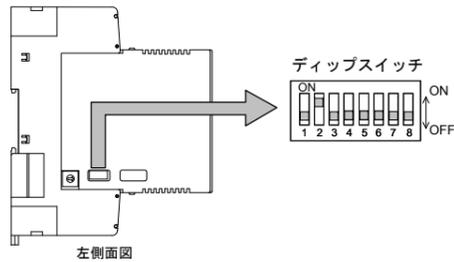
設定範囲以外に設定した場合、COM-JCはFAIL状態になります。

通信速度と最大伝送距離 [Ver. 1.10 対応 CC-Link 専用ケーブル使用時]

通信速度設定	通信速度	最大伝送距離
0	156 kbps	1200 m
1	625 kbps	900 m
2	2.5 Mbps	400 m
3	5 Mbps	160 m
4	10 Mbps	100 m

2.3 占有局数/拡張サイクリックとコントローラ通信速度の設定

占有局数/拡張サイクリックの設定およびコントローラ通信の速度を設定します。



1	2	コントローラ通信速度
OFF	OFF	38400 bps
ON	OFF	9600 bps
OFF	ON	19200 bps
ON	ON	38400 bps

出荷値: 19200 bps

3	4	5	占有局数/拡張サイクリック
OFF	OFF	OFF	4局占有1倍 (8チャンネル割付)
ON	OFF	OFF	4局占有1倍 (16チャンネル割付)
OFF	ON	OFF	4局占有2倍 (16チャンネル割付)
ON	ON	OFF	4局占有2倍 (32チャンネル割付)
OFF	OFF	ON	1局占有1倍 (1チャンネル割付)
ON	OFF	ON	1局占有1倍 (2チャンネル割付)
OFF	ON	ON	4局占有4倍 (32チャンネル割付)
ON	ON	ON	4局占有4倍 (64チャンネル割付)

出荷値: 4局占有1倍 (8チャンネル割付)

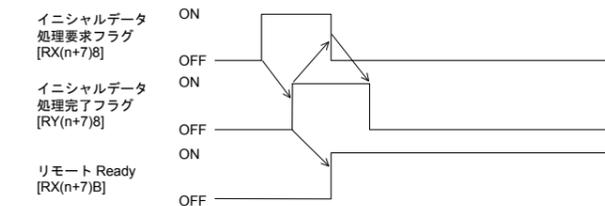
6	7	8	
OFF	OFF	OFF	固定

3. CC-Link フラグ操作

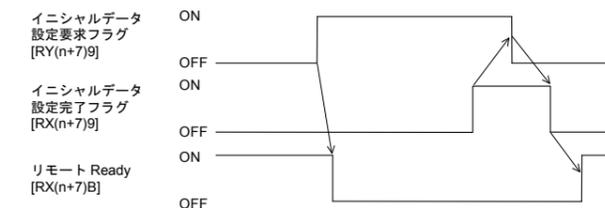
リモート入出力やリモートレジスタのフラグ操作を示します。
[例] 占有局数/拡張サイクリック設定が、4局占有1倍設定の場合

■ 電源ON時、イニシャル要求処理

● リモートデバイス局 (COM-JC) からイニシャル処理要求:
電源ON時、COM-JCのイニシャルが終了すると、イニシャルデータ処理要求フラグ [RX(n+7)8] がONになります。これを受けてイニシャルデータ処理完了フラグ [RY(n+7)8] をONにしてください。
COM-JC がレディ状態になると、リモート Ready [RX(n+7)B] がONになります。

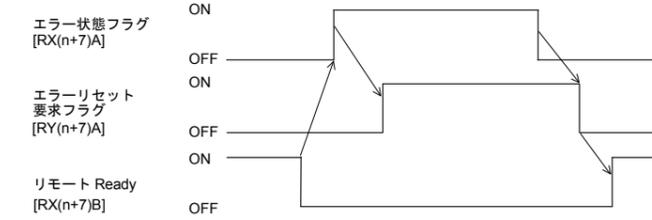


● マスタ局 (PLC) からイニシャル処理要求:
マスタ局からCOM-JCへのイニシャル設定要求です。特にイニシャルデータはないため、処理の必要はありません。



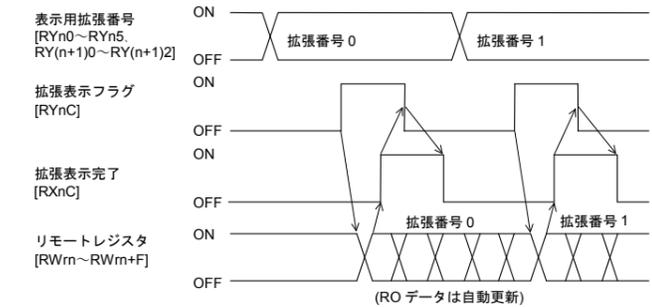
■ エラーフラグ、エラーリセット処理

エラー状態フラグ [RX(n+7)A] がONの時に、エラーリセット要求フラグ [RY(n+7)A] をONにすると、エラー状態フラグの履歴がクリアされ、[RX(n+7)A] がOFFになります。



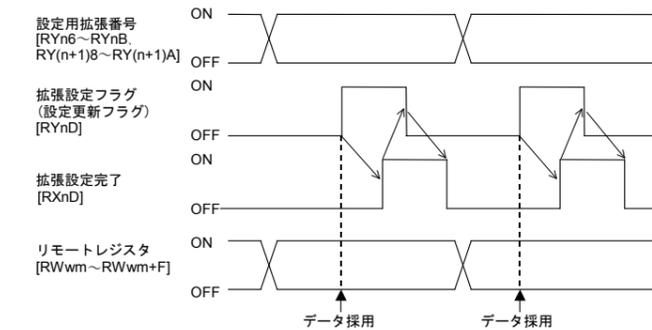
■ 表示用拡張番号の切替処理

拡張表示用リモートレジスタの内容を切り換えます。表示用拡張番号 [RYn0~RYn5, RY(n+1)0~RY(n+1)2] を設定後、拡張表示フラグ [RYnC] をONにします。リモートレジスタ [RWm~RWm+F] のデータ表示が完了して、拡張表示完了 [RXnC] がONになったことを確認してから、拡張表示フラグ [RYnC] をOFFにします。拡張表示フラグ [RYnC] がOFFになると、拡張表示完了 [RXnC] がOFFになります。



■ 設定用拡張番号の切替処理

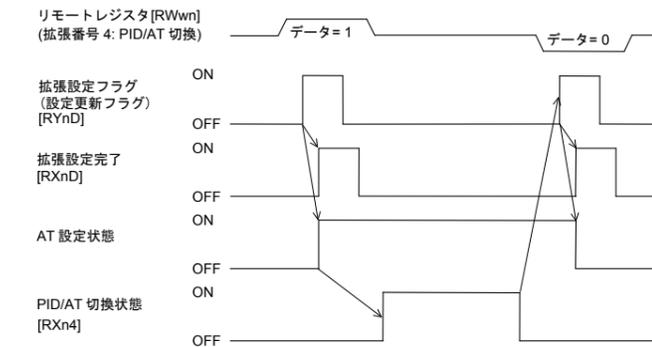
拡張設定用リモートレジスタの内容を切り換え、設定値を変更します。設定用拡張番号 [RYn6~RYnB, RY(n+1)8~RY(n+1)A] を設定後、拡張設定フラグ (設定更新フラグ) [RYnD] をONにします。リモートレジスタ [RWwm~RWwm+F] の内容が設定完了して、拡張設定完了 [RXnD] がONになったことを確認してから、拡張設定フラグ (設定更新フラグ) [RYnD] をOFFにします。拡張設定完了 [RXnD] がOFFになると、拡張設定完了 [RXnD] がOFFになります。



占有局数および拡張サイクリックに関係なく、リモートレジスタ (RWw) に固定で割り付けられている「設定値 (SV)」を変更する場合も、上記の処理が必要です。

■ AT 起動方法

ATの実行を指令します。



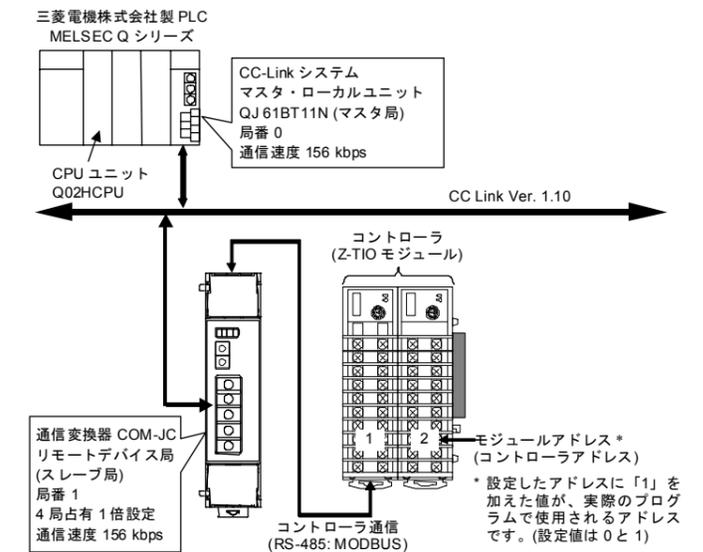
リモート入出力およびリモートレジスタについては、COM-JC [SRZ 対応版] 通信データ一覧 (IMR01Y30-J口) または COM-JC [SRZ 対応版] 取扱説明書 (IMR01Y34-J口) を参照してください。

4. 使用例

以下にCC-Link通信の使用例について説明します。

4.1 システム構成

本使用例は以下のシステム構成をもとに説明します。



■ 使用機器

- CC-Link 通信変換器: COM-JC: 1台
- コントローラ (SRZ): Z-TIO モジュール (4チャンネルタイプ): 2台
- 三菱電機株式会社製 PLC MELSEC Q シリーズ
 - CPU ユニット Q02HCPU
 - CC-Link システム マスタ・ローカルユニット QJ61BT11N
- CC-Link Ver. 1.10 対応 CC-Link 専用ケーブル
- COM-JC とコントローラ接続ケーブル

4.2 使用機器の設定

PLC と COM-JC およびコントローラの設定を以下に行います。

■ PLC の設定

CC-Link システム マスタ・ローカルユニット QJ61BT11N と、MELSEC シーケンサプログラミングソフトウェア GX Developer の操作については、PLC の取扱説明書を参照してください。

[CC-Link システム マスタ・ローカルユニット QJ61BT11N の設定]

設定項目	設定内容
局番	0
CC-Link 通信速度	156 kbps

[GX Developer によるマスタ局ネットワークパラメータの設定]

設定項目	設定内容
ユニット枚数	1
先頭 I/O No	0000
動作設定	パラメータ名称: なし データリンク異常局設定: クリア CPU/STOP 時設定: リフレッシュ
種別	マスタ局
CC-Link モード設定	リモートネット Ver. 1 モード
総接続台数	1
リトライ回数	5
自動復列台数	1
待機マスタ局番	ブランク
CPU ダウン指定	停止
スキャンモード指定	非同期
ディレイ時間設定	10 (500 μs)
局情報 (COM-JC 接続台数 1 台の局番 1)	局種別: リモートデバイス局 拡張サイクリックの設定: 1倍設定 占有局数: 4局占有 リモート局点数: 128点 予約/無効局指定: 設定なし インテリジェント用バッファ指定 (ワード): 設定なし

[GX Developer による自動リフレッシュパラメータの設定]

設定項目	設定内容
リモート入力 (RX) リフレッシュデバイス	X1000
リモート出力 (RY) リフレッシュデバイス	Y1000
リモートレジスタ (RWn) リフレッシュデバイス	W0
リモートレジスタ (RWw) リフレッシュデバイス	W100
特殊リレー (SB) リフレッシュデバイス	SB0
特殊レジスタ (SW) リフレッシュデバイス	SW0

